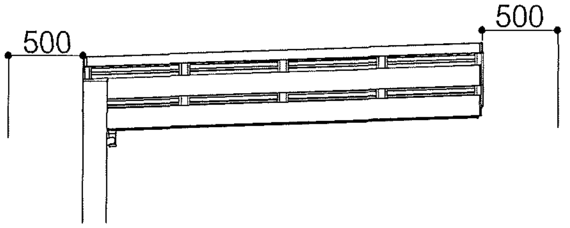
新日軽 EDGE【エッジ】 施工説明書番号 ME-2223

片流れ用 施工説明書

この度は、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、
作業を行ってください。

◎組立・施工の前に

- 本施工説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書および同梱されている「取扱説明書」は施工後必ず施主様へお渡しください。
- **連棟・背面合掌タイプについては別途各々の施工説明書を先にご覧ください。**
- **『ポリカーボネート・アクリル用』と表記のあるアルコール系シーリング剤をご用意ください。**
- **カーポートの左右どちらかに屋根材を施工するためのスペースが必要です(500mm程度)**



○注意(設置場所・設置位置について)

- この商品は一般地域用です。【積雪強度600N/㎡(61.2kg/㎡)・耐風圧強度:38m/s】(風力係数1.0当社計算による)積雪の多い地域・風の強い地域には取付けないでください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- サイドパネルや建物の壁などにより柱側に風が通らなくなる場所に設置する場合には、必ず補助柱を取付けてください。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 柱移動は弊社指定範囲内にしてください。

○施工時の注意事項

- **後枠を土間勾配の上側にして施工する場合、雨樋から排水される雨水を処理するための溝を設けてください。**
- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

— 目 次 —

組立・施工の前に	・・・・・・・	1
注意(設置場所・設置位置について)	・・・・・・・	1
施工時の注意事項	・・・・・・・	1
梱包明細	・・・・・・・	2
基礎寸法表	・・・・・・・	2
納まり図(単体、サイドパネル2段付き)	・・・・・・・	3
納まり図(ウイングゲートとの組合せ)	・・・・・・・	4
構造説明図	・・・・・・・	5
基礎の施工	・・・・・・・	6
はりの取付け	・・・・・・・	6
側枠・母屋の取付け	・・・・・・・	7
中骨・中間たる木・後枠ピースの取付け	・・・・・・・	8
前後枠の取付け	・・・・・・・	9
たる木の取付け	・・・・・・・	10
コンクリートの打ち込み	・・・・・・・	10
屋根材および押え材の取付け	・・・・・・・	11
雨樋の組立	・・・・・・・	12
施工完了時の注意事項	・・・・・・・	12
オプション品のご紹介	・・・・・・・	12

梱包明細

- 施工前に部材数量の確認、及び部品数量の確認をしてください。
  また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 施工説明書に記載している部材・部品(ビス含)以外は使用しないでください。

部材セット明細

梱包名称	部材・部品名称	数量
標準柱	柱	1 (1本入り)
長柱		
長々柱		
はり	はり	2 (2本入り)、1 (1本入り)
母屋セット	母屋	3 (3本入り)
側枠セット	側枠	RL各1
前後枠セット	前枠	1
	後枠	1
中骨セット	中骨	6
中間たる木セット	中間たる木	4
	中間たる木押え材	4
	後枠ピース	4
たる木・押え材セット	たる木	6
	押え材	6
	側枠たる木	4
	側枠押え材	4
柱・はりジョイナー	柱・はりジョイナー	2 (2本入り)、1 (1本入り)
屋根材	ポリカーボネート板、熱線遮断ポリカーボネート板	4 (4枚入り)
丸たて樋	たて樋:L=3500 (ETC-2438)	1

部品箱明細

用途	部品名称	部品記号	数量		
			柱・はり用部品箱		屋根用部品箱
			はり1本用	はり2本用	
取説関連	施工説明書	ME-2223		1	
	施主様向け取り扱い説明書	MET-1001		1	
柱の施工	アンカー棒	AN-108	1	2	
はりの取付け	M8×20六角 セムスボルト	BN-1292	7	14	
	柱キャップ	CY-2669	1	2	
	はりキャップ	CY-2671	1	2	
	Φ10用孔ふさぎ	C-1172	2	4	
雨樋の取付け	雨樋部品セット	ETC-4101		1	
側枠・母屋の取付け	側枠固定部品	EB-2499	1	2	
	Φ4×10トラス (タッピン3種)	3TA4×10S	4	8	
	母屋固定用スペーサー	IB-1108	3	6	
	側枠固定用スペーサー	IB-1109	1	2	
	Φ4×16トラス (タッピン3種)	3TA4×16S	8	16	
	孔ふさぎシール	NM-73			30
	母屋止水パッキン	BU-1277			3
中骨、中間たる木 後枠ピースの取付け	開き止め金具	EB-2500			2
	Φ4×10セルフドリリングビス	DDAP4×10W			52
	18㎜気密材	FO-1572			8
前後枠の取付け	前枠キャップ	CY-2672			RL各1
	後枠キャップ	CY-3518			RL各1
	Φ4×10セルフドリリングビス	DDAP4×10W			13
	Φ4×10トラス (タッピン3種)	3TA4×10S			6
たる木の取付け	Φ4×10セルフドリリングビス	DDAP4×10W			50
面材及び押え材の取付け	Φ4×10トラス (タッピン2種)	2TA4×10S			190

! シーリング剤は『ポリカーボネート・アクリル用』と表記のあるアルコール系シーリング剤をご用意ください。(市販品)

基礎寸法表

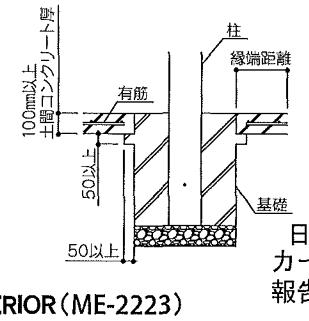
※土間コンクリートを併用しない場合

形式	サイズ	納まり	基礎寸法 (A×B)
片流れ	間口24×奥行51、間口24×奥行58 間口27×奥行51、間口30×奥行58	単体	1050×900
		サイドパネル付	
	間口27×奥行58、間口30×奥行51	単体	1250×900
		サイドパネル付	

※土間コンクリートを併用する場合

形式	サイズ	納まり	基礎寸法 (A×B)	縁端距離
片流れ	間口24×奥行51、間口24×奥行58 間口27×奥行51、間口30×奥行58	単体	700×700	200
		サイドパネル付		
	間口27×奥行58、間口30×奥行51	単体	800×800	250
		サイドパネル付		

【土間コンクリート併用の基礎条件】
- 土間コンクリートの厚みが100㎜以上であること。
- 有筋であること。
- 土間コンクリートの下部に、50㎜×50㎜以上の突起部を基礎全周に設けること。
- 基礎縁端部から土間外周部まで距離(縁端距離)が左記寸法以上であること。
- 地耐力が50Kn/㎡以上であること。

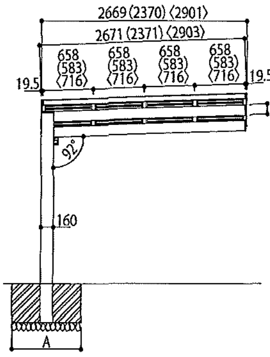


日本エクステリア工業会
カーポート基礎共同研究会
報告書より

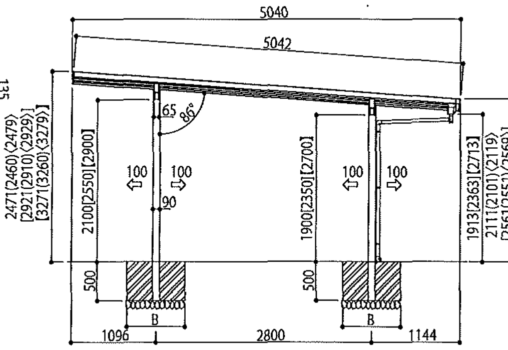
納まり図 [基礎寸法A,Bは、2ページの『基礎寸法表』を参照してください。]

■ 単体

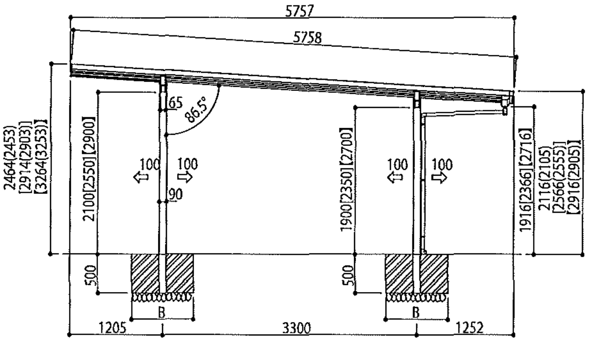
・本図は間口27です。
　間口24は( )内寸法、間口30は〈 〉内寸法です。
・本図は標準柱です。長柱は[ ]内寸法、長々柱は【 】内寸法です。
・➡は柱移動範囲を表します。



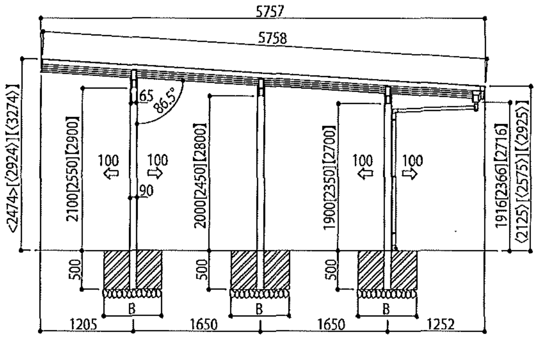
[奥行:51]



[奥行:58]

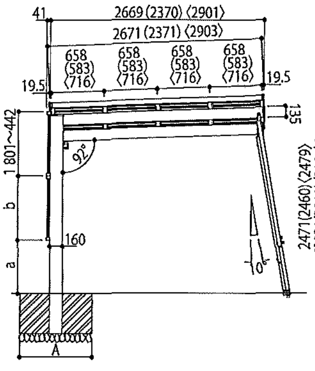


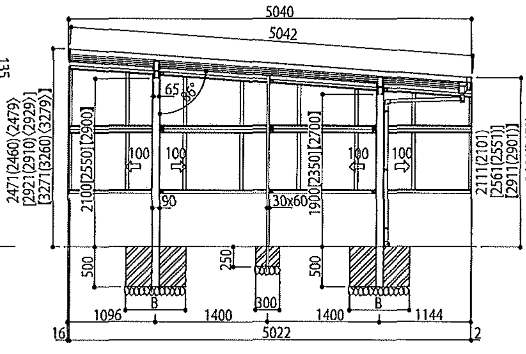
[間口:30×奥行:58]
※間口30×奥行58のみ柱3本



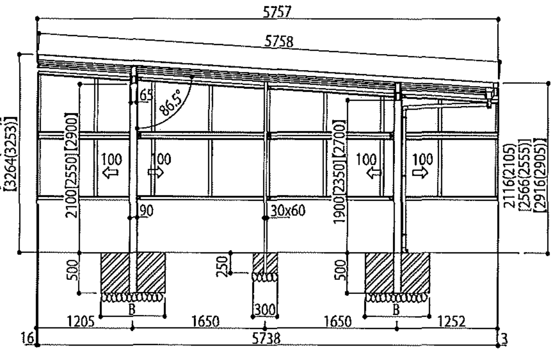
■ サイドパネル　2段付き

[奥行:51]



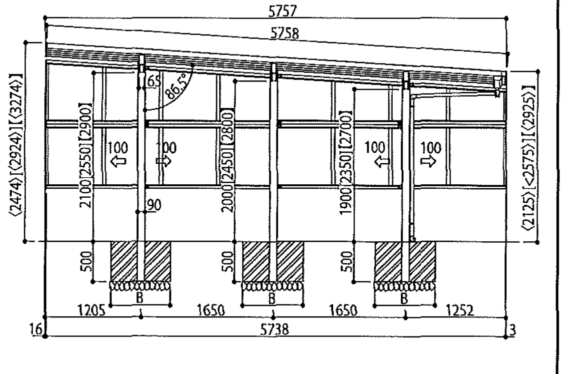


[奥行:58]



・本図は間口27です。
　間口24は( )内寸法、間口30は〈 〉内寸法です。
・本図は標準柱です。長柱は[ ]内寸法、長々柱は【 】内寸法です。
・➡は柱移動範囲を表します。

[間口:30×奥行:58]
※間口30×奥行58のみ柱3本



ウイングゲートとの組合せ

【EDGE片流れ（後勾配）との組合せ寸法図】

- ・本図は奥行58です。
- ・「 」内寸法は奥行51です。
- ・( )内寸法はH=1000扉です。
- ・[ ]内寸法はH=1200扉です。

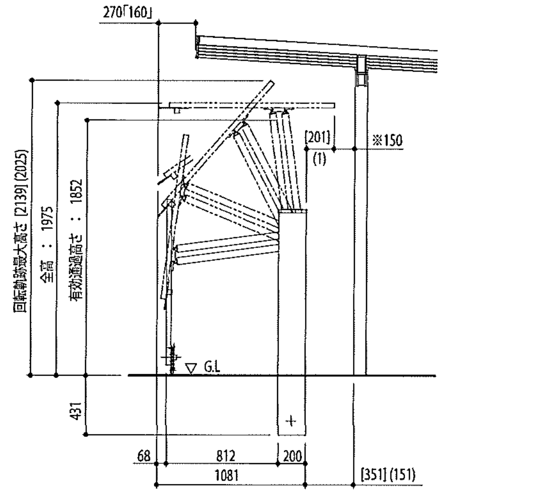
※が付いている寸法は、ウイングゲートの扉が上昇した時の揺れで、カーポートの柱と干渉しないようにする為のものです。必ず150mm以上離してください。

【EDGE片流れ（前勾配）との組合せ寸法図】

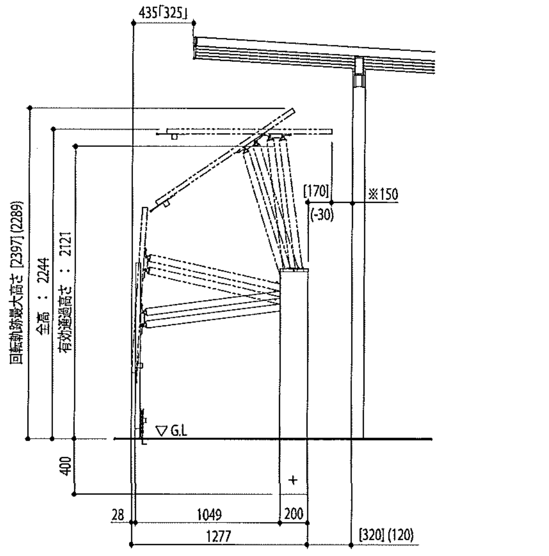
- ・本図は奥行51です。
- ・『 』内寸法は奥行58です。
- ・( )内寸法はH=1000扉です。
- ・[ ]内寸法はH=1200扉です。

後勾配納まり

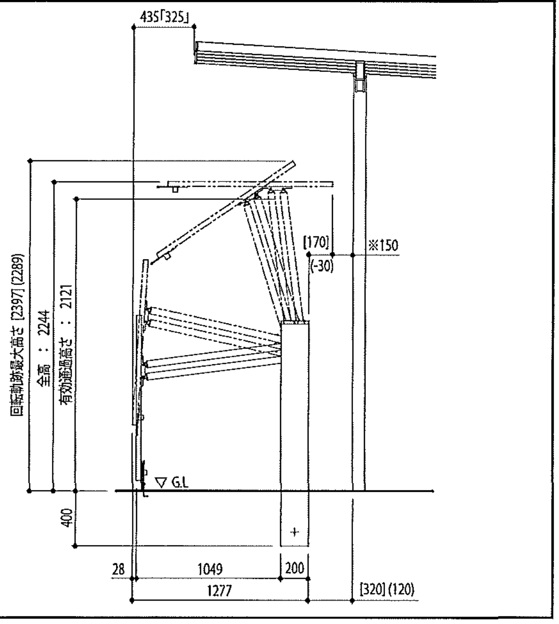
EDGE標準柱　ウイングゲート　標準タイプ



EDGE長柱　ウイングゲート　ハイルーフタイプ

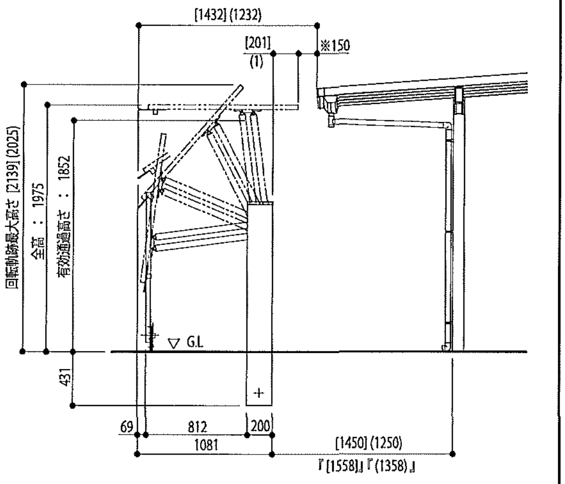


EDGE長々柱　ウイングゲート　ハイルーフタイプ

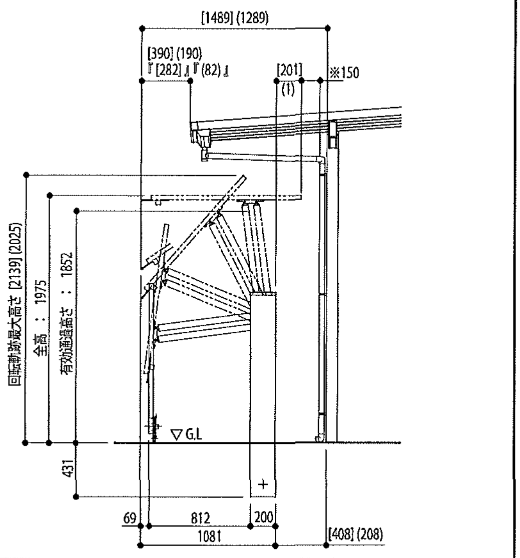


前勾配納まり

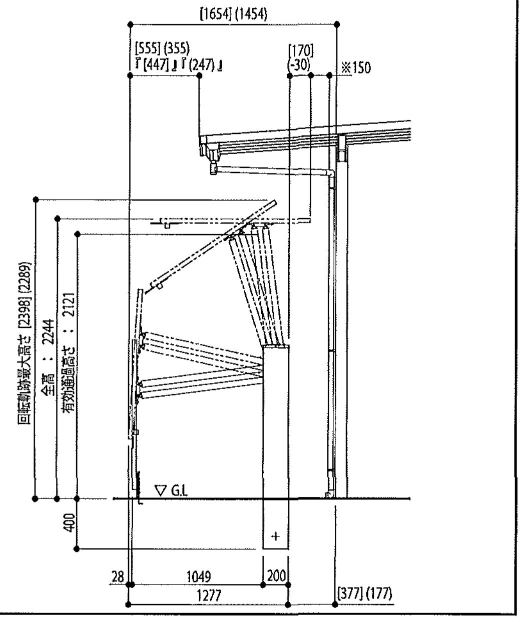
EDGE標準柱　ウイングゲート　標準タイプ



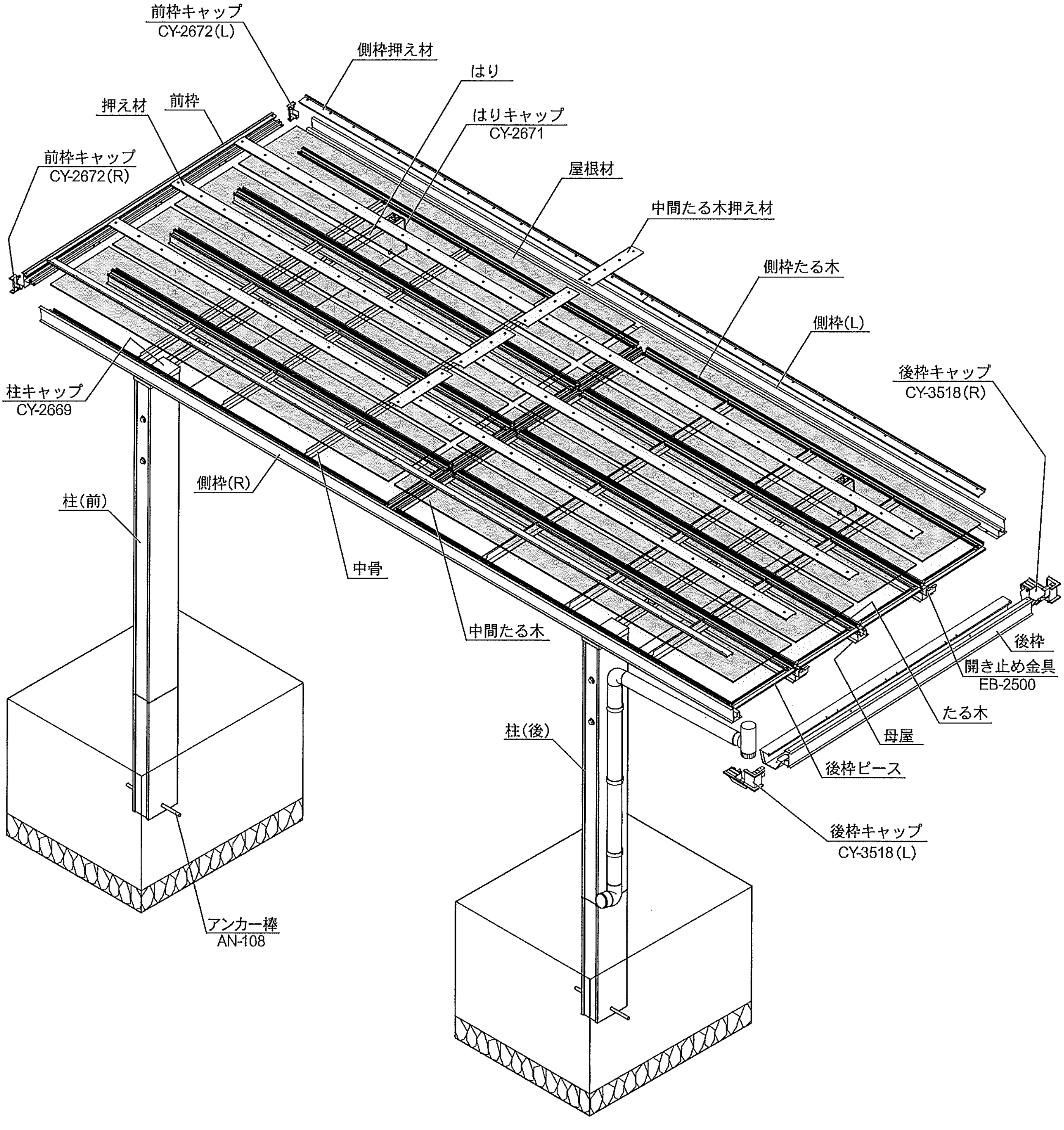
EDGE長柱　ウイングゲート　標準タイプ



EDGE長々柱　ウイングゲート　ハイルーフタイプ



構造説明図

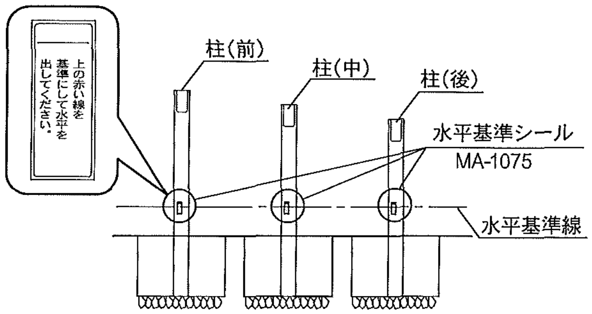


前枠キャップ
CY-2672(L)
側枠押え材
はり
押え材
前枠
はりキャップ
CY-2671
前枠キャップ
CY-2672(R)
屋根材
中間たる木押え材
側枠たる木
側枠(L)
後枠キャップ
CY-3518(R)
柱キャップ
CY-2669
側枠(R)
柱(前)
中骨
中間たる木
後枠
開き止め金具
EB-2500
たる木
柱(後)
母屋
後枠ピース
後枠キャップ
CY-3518(L)
アンカー棒
AN-108

1 基礎の施工

① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置･基礎寸法は納まり図を参照してください。
② 柱にアンカー棒を差し込んでください。

③ 2本(あるいは3本)の柱に貼ってある水平基準シールを目安にして水平を出してください。

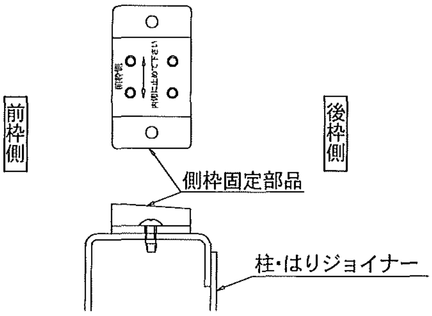


ポイント

●コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。

2 はりの取付け

① はりにはりキャップ､Φ10用穴ふさぎキャップを取付けてください。
② 柱･はりジョイナーをはり､柱に差し込み､セムスボルトで固定してください。
③ 柱キャップを取付けてください。
④ 下図を参照して側枠固定部品を柱･はりジョイナーにビス止めしてください。



側枠固定部品納まり

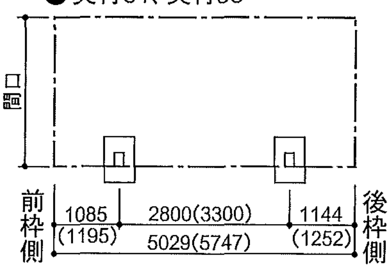
ボルトの締め付けの際は、インパクトドライバーの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまう事があります。

ボルトの締め付けは306kgf･cmで行ってください。

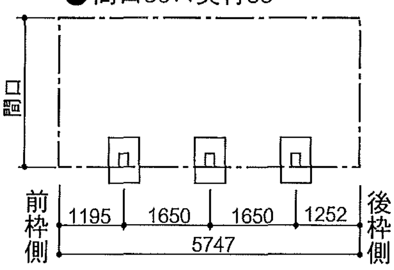
工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。

柱､はり､ジョイナーの組合せを表(右記)で確認し、正しく施工してください。

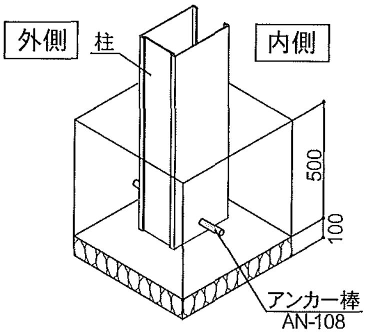
●奥行51、奥行58



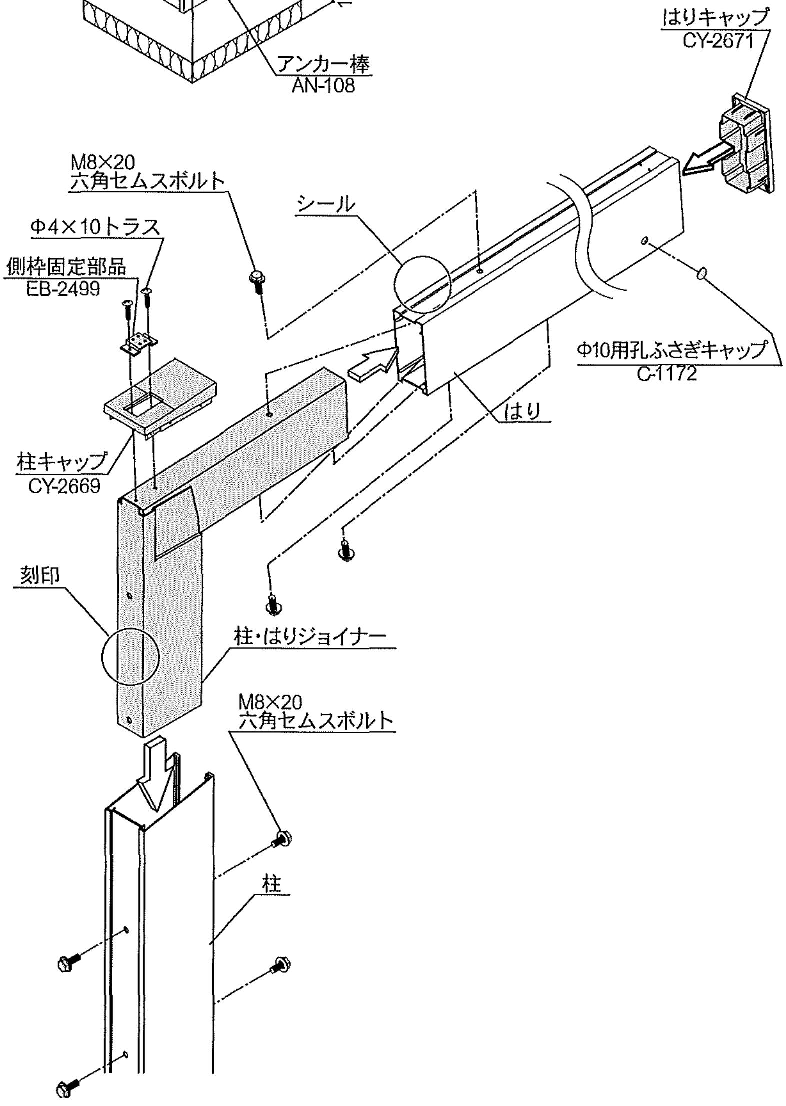
●間口30×奥行58



※( )寸法は奥行58を示します。
※ 間口30×奥行58のみ柱3本



サイズ呼称	間口(㎜)
間口24	2370
間口27	2669
間口30	2901



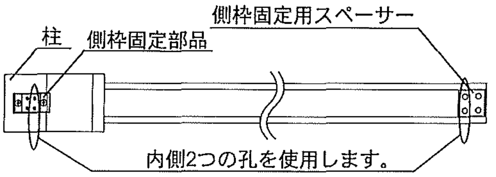
	判別方法	奥行51		奥行58	
		間口24・27	間口30	間口24・27	間口30
標準柱・長柱	補強材の有無	無し		有り	無し
長々柱		有り			
はり	シールの種類	L51	シール無し	L58	シール無し
ジョイナー	刻印の種類	EB-2493	EB-2494	EB-2494	EB-2493

3 側枠･母屋の取付け

① 柱側の側枠はΦ4×10トラスビスを用いて側枠固定部品に、はり先端側の側枠はΦ4×16トラスビスを用いて側枠固定用スペーサーの上から、はりに取付けてください。
② はりに母屋固定用スペーサーを置き、母屋を母屋固定用スペーサーの上から、はりにΦ4×16トラスビスを用いて取付けてください。
③ 母屋止水パッキンにシーリングを施し、母屋の前枠側の端部に取付けてください。

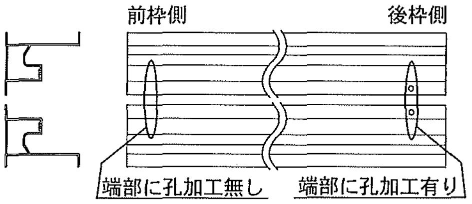
ポイント

●側枠固定部品･側枠固定用スペーサーには側枠を取付ける為の孔がそれぞれ4つあいています。カーポートの内側になる2つの孔を使用して側枠を取付けてください。



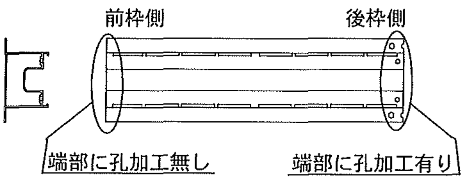
ポイント

●側枠には向きがあります。下図を参考に取付けてください。



ポイント

●母屋には向きがあります。下図を参考に取付けてください。

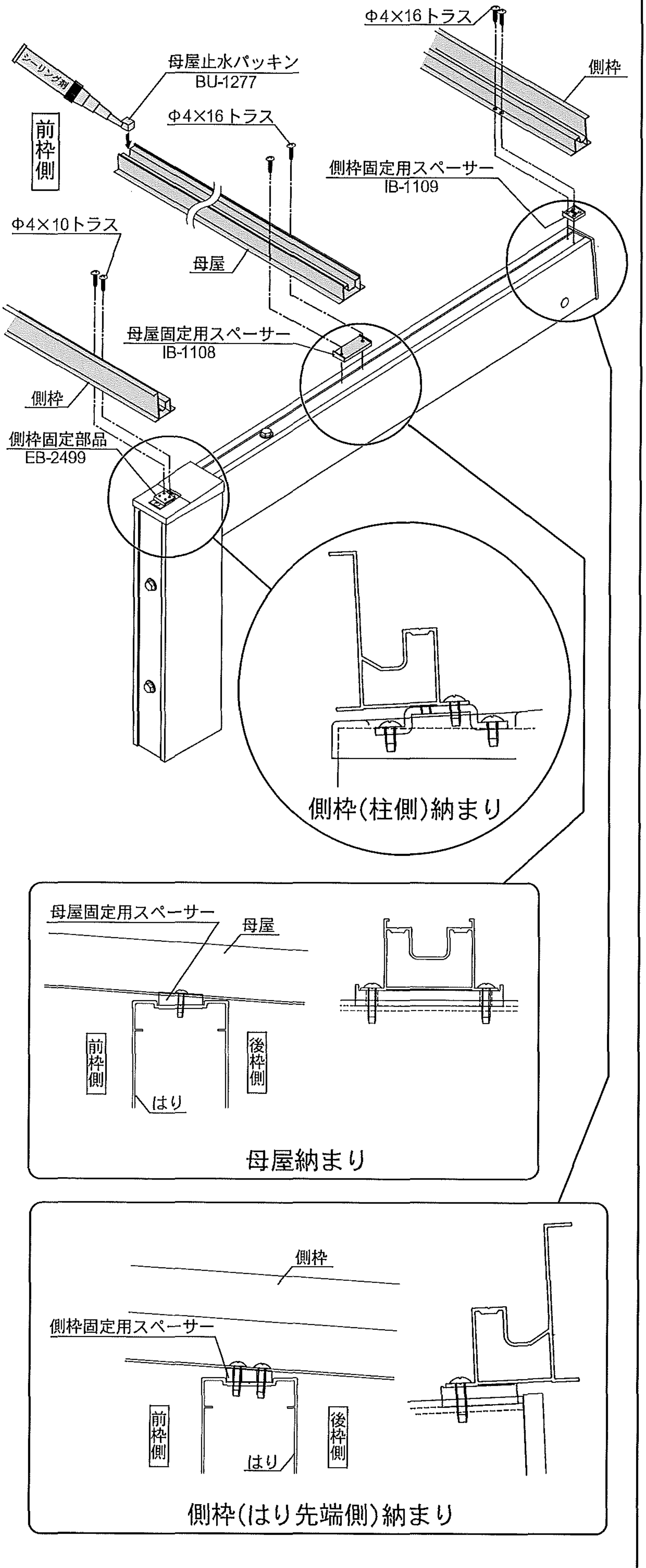


ポイント

●柱移動する場合は側枠･母屋に孔加工が必要になります。 使用しなくなった孔には孔ふさぎシールを貼り付けてください。

お願い

シーリングは確実に行ってください。
シーリングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。

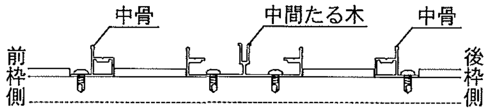


4 中骨・中間たる木・後枠ピースの取付け

① 中間たる木に18㎜気密材(FO-1572)を貼り付けてください。18㎜気密材に孔をあけて、母屋のノッチが見えるようにしてください。
② 中骨・中間たる木を側枠・母屋にビス止めしてください。
③ 開き止め金具(EB-2500)を2本の母屋にビス止めした後、後枠ピースを側枠・母屋にビス止めしてください。

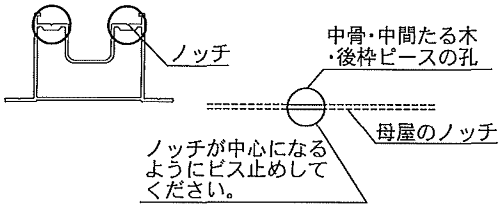
ポイント

●中骨には向きがあります。下図を参考に取付けてください。



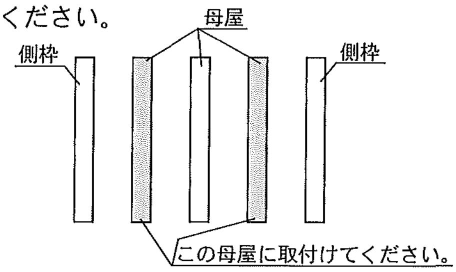
ポイント

●母屋には中骨・中間たる木・後枠ピースを取付ける孔加工はありません。
下図を参考に取付けてください。



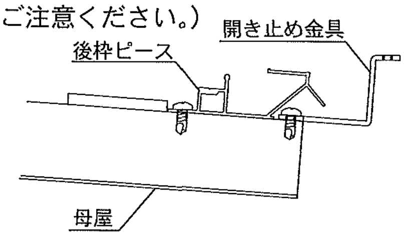
ポイント

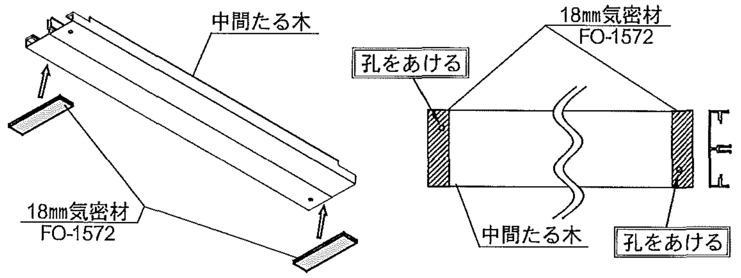
●開き止め金具は、下図を参考に取付けてください。

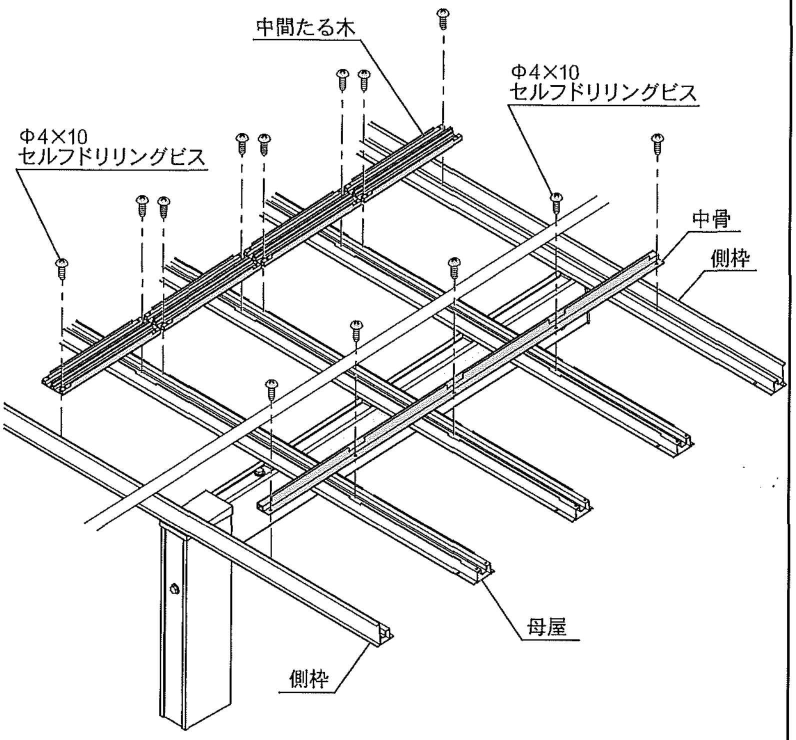


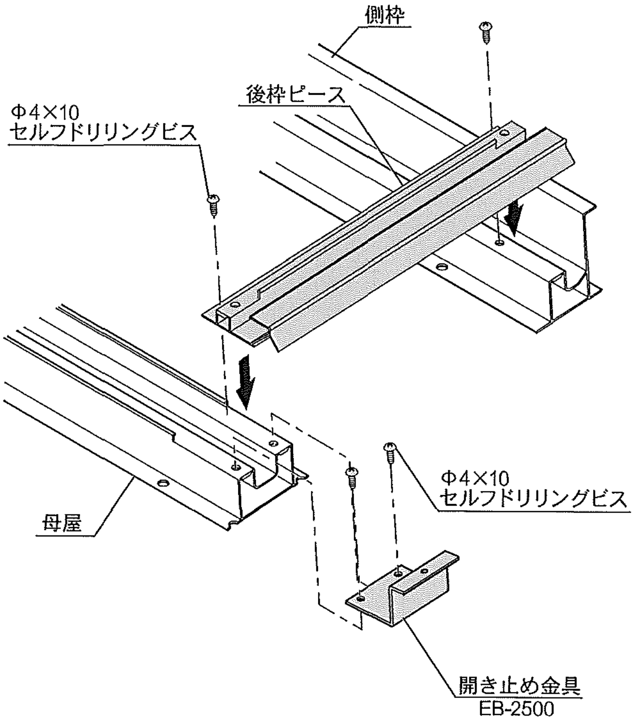
ポイント

●開き止め金具の取付けは、後枠ピースを取付ける前に必ず行ってください。
(後枠ピースを先に取付けてしまうと開き止め部品を取付けられなくなりますので、ご注意ください。)







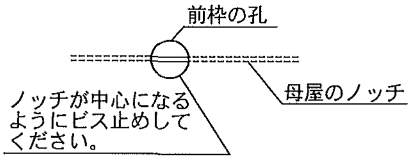


5 前後枠の取付け

① 前枠の両端切り口にシーリングを施し、前枠キャップを差し込み、ビス止めしてください。
② 側枠の前枠側切り口にシーリングを施し、前枠キャップを差し込み、ビス止めしてください。

ポイント

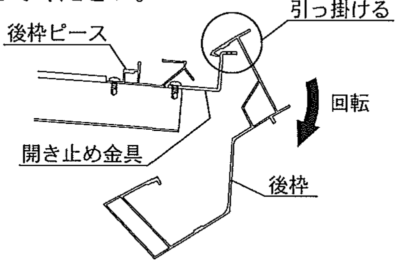
●母屋には前枠を取付ける孔加工はありません。下図を参考に取付けてください。



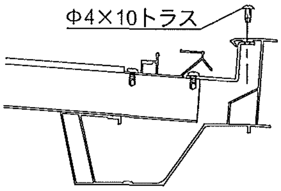
③ 後枠両端切り口にシーリングを施し、後枠キャップを差し込み、上部をビス止めしてください。
④ 以下に示す手順で後枠を取付けてください。

ポイント

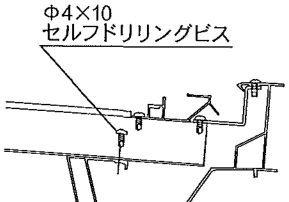
1. 開き止め金具に後枠を引っ掛け、回転させてください。



2. 後枠と開き止め金具をビス止めしてください。

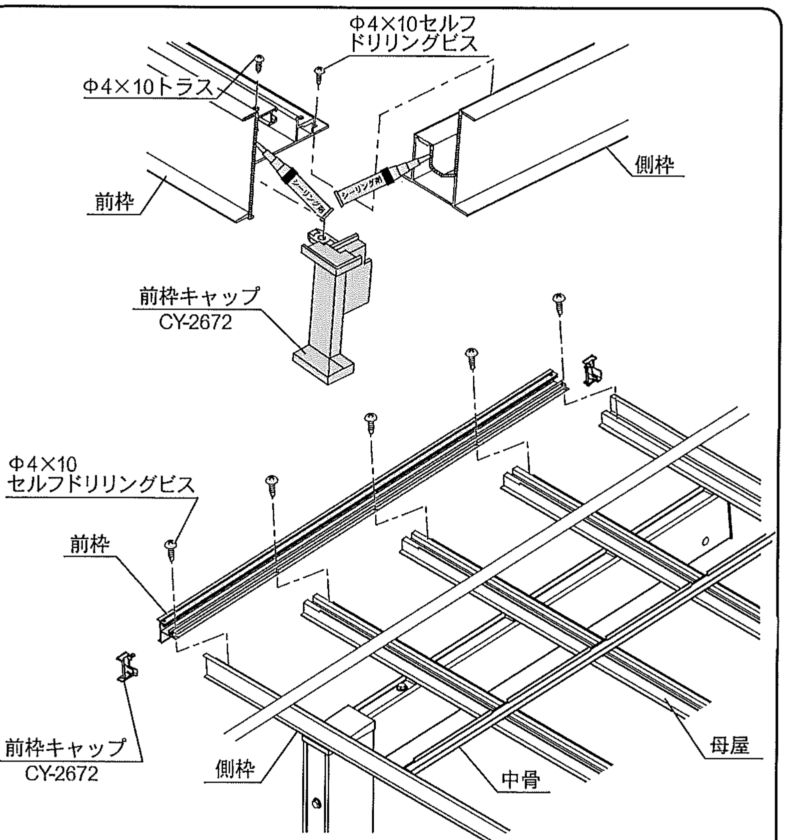


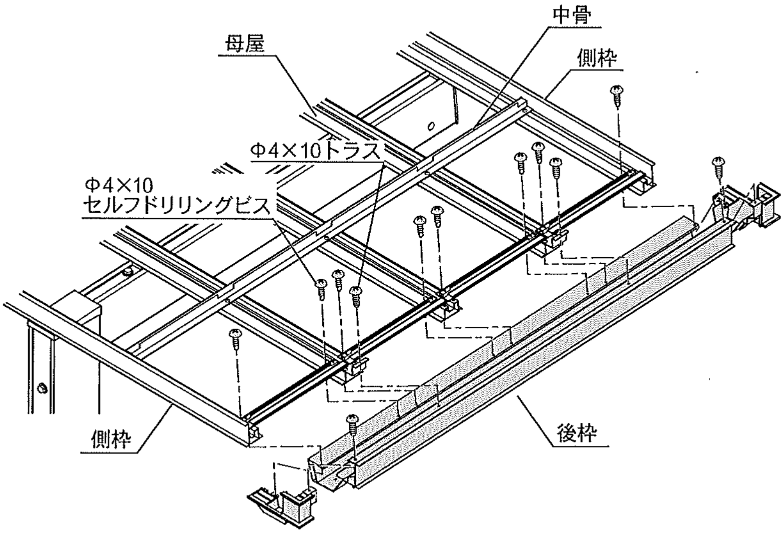
3. 後枠と側枠・母屋をビス止めしてください。

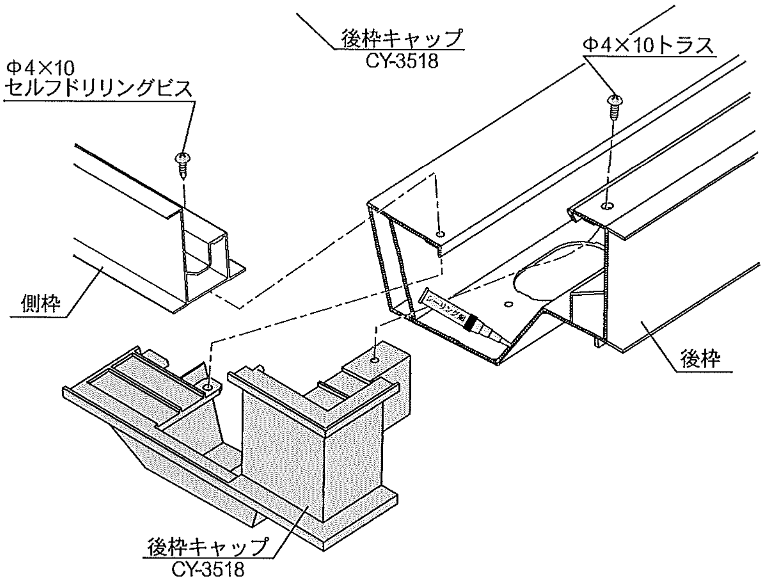


お願い

●シーリングは確実に行ってください。
シーリングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。

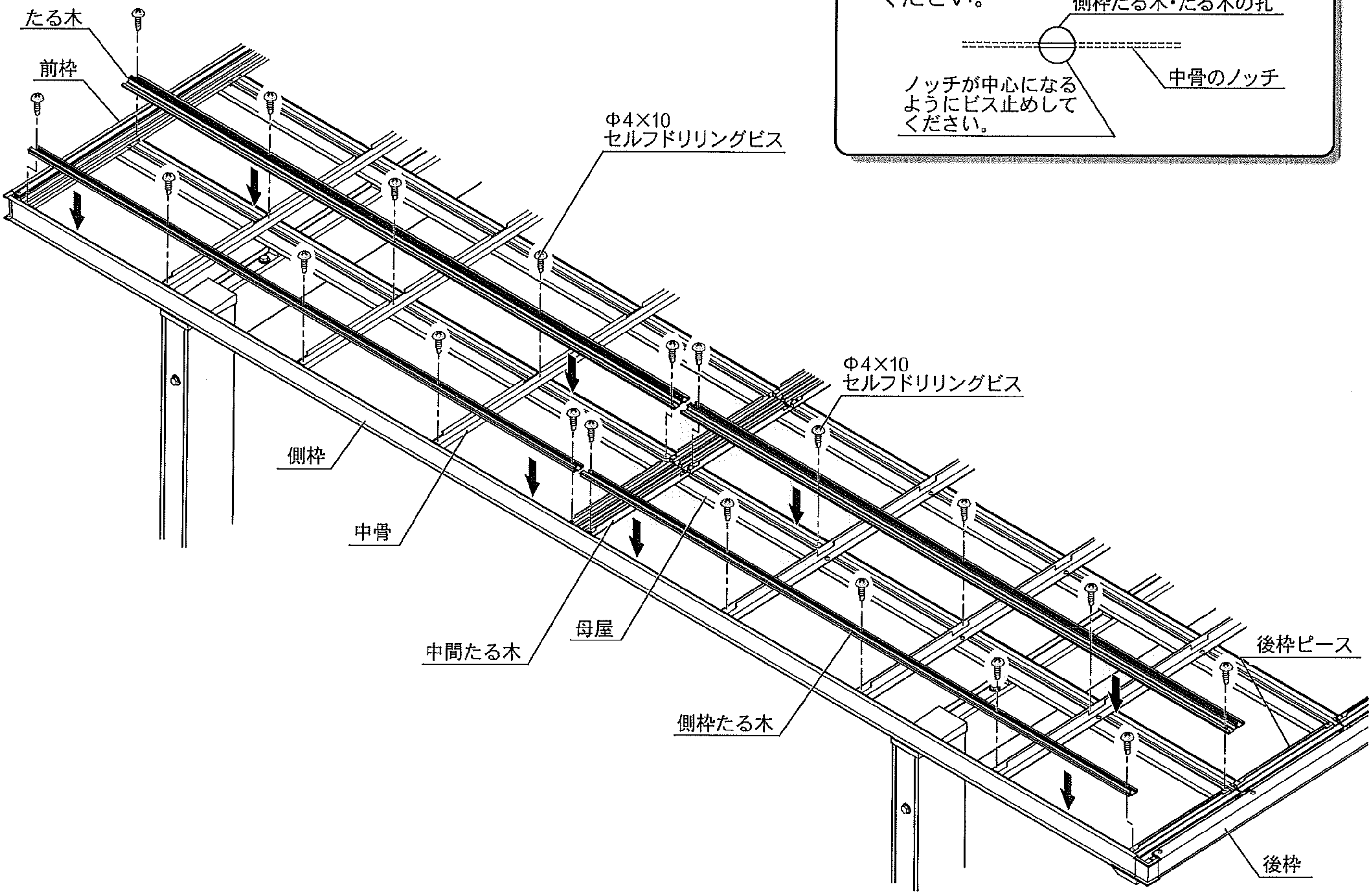






6 たる木の取付け

① たる木を前枠・後枠ピース・中骨・中間たる木の取付け孔部や切り欠き部に合わせて、ビス止めしてください。



ポイント

●中骨には側枠たる木・たる木を取付ける孔加工はありません。下図を参考に取付けてください。

側枠たる木・たる木の孔

中骨のノッチ

ノッチが中心になるようにビス止めしてください。

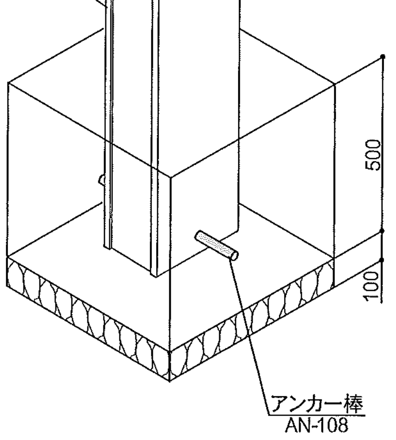
7 コンクリートの打ち込み

① 柱のアンカー棒を確認してください。

② 屋根の対角、柱の間隔・垂直・平行寸法が正しく出ているか確認してください。

③ コンクリートを流し込んでください。

④ コンクリートが固まるまで養生してください。(4日～1週間程度)



8 屋根材及び押え材の取付け

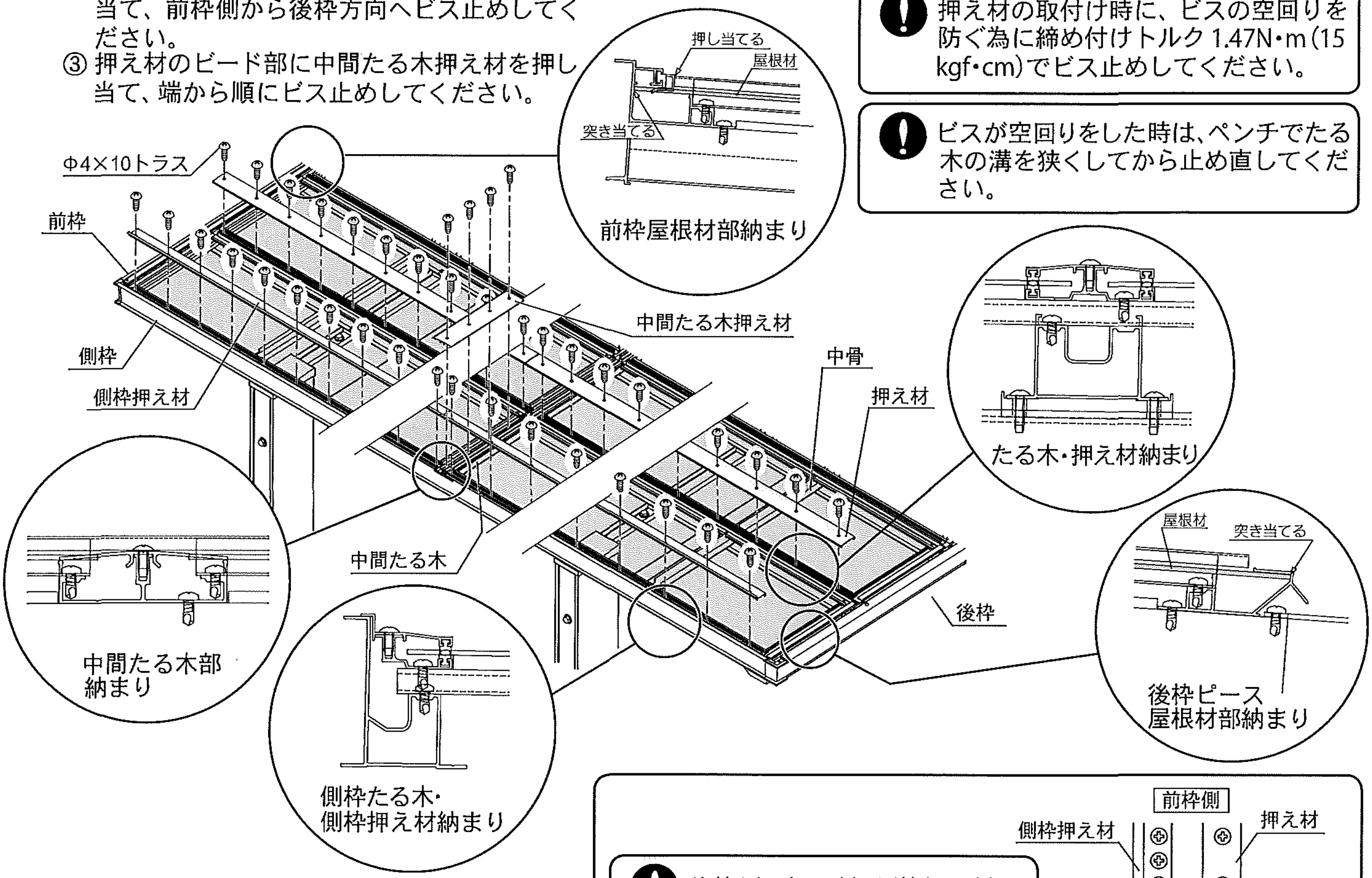
① 前枠側の屋根材は、前枠に突き当たるまで差し込み、後枠側の屋根材は後枠ピースに突き当たるまで差し込んでください。
② 前枠のビード部に押え材・側枠押え材を押し当て、前枠側から後枠方向へビス止めしてください。
③ 押え材のビード部に中間たる木押え材を押し当て、端から順にビス止めしてください。

押え材は前枠側から取付けてください。

押え材の取付け時に、インパクトドライバーは使用しないでください。

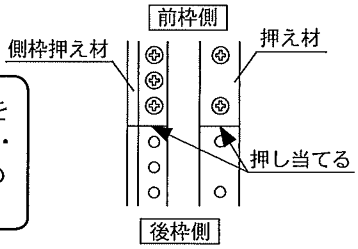
押え材の取付け時に、ビスの空回りを防ぐ為に締め付けトルク1.47N・m(15kgf・cm)でビス止めしてください。

ビスが空回りをした時は、ペンチでたる木の溝を狭くしてから止め直してください。

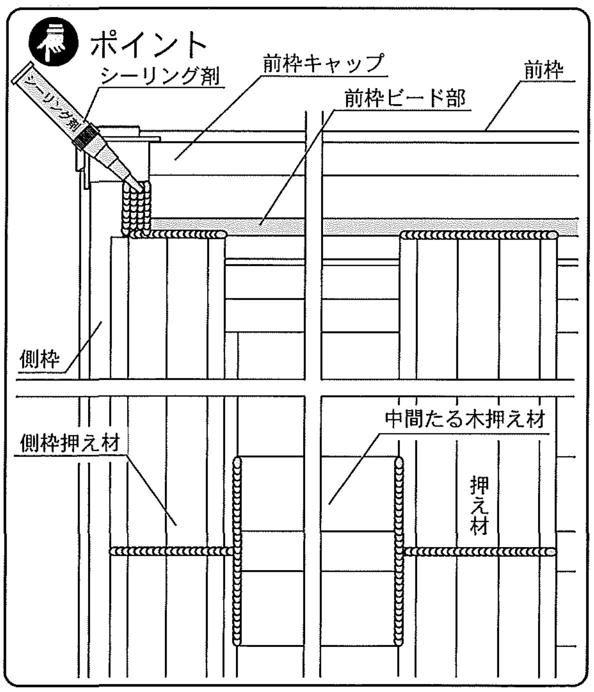


④ 押え材・側枠押え材が前枠のビード部に突き当たる部分と、前枠と前枠キャップの連結部にシーリングを施してください。
又、押え材・側枠押え材の突き合わせ部と、中間たる木押え材が押え材・側枠押え材に突き当たる部分にシーリングを施してください。

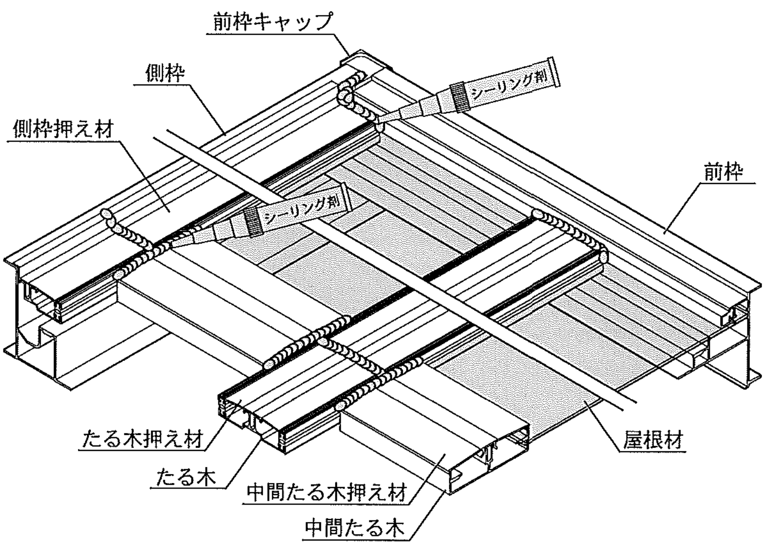
後枠側の押え材・側枠押え材を取付ける際、前枠側の押え材・側枠押え材に押し当て、ビス 止めしてください。



ポイント



お願い ● シーリングは確実に行ってください。
シーリングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。



9 雨樋の組立

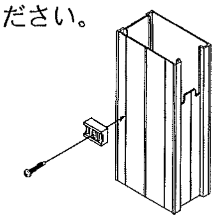
① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。(L1寸法は､下表を参照ください)
② 後枠の両端にある加工孔の片側(柱側)に落し口パッキン・落し口を取付けます。
③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
④ 柱3ケ所に固定バンドAをビス止めし、 固定バンドBにてたて樋を固定してください。
⑤ 使用しない後枠水抜き加工孔には落し口パッキン・水抜き孔ふさぎを取付けてください。

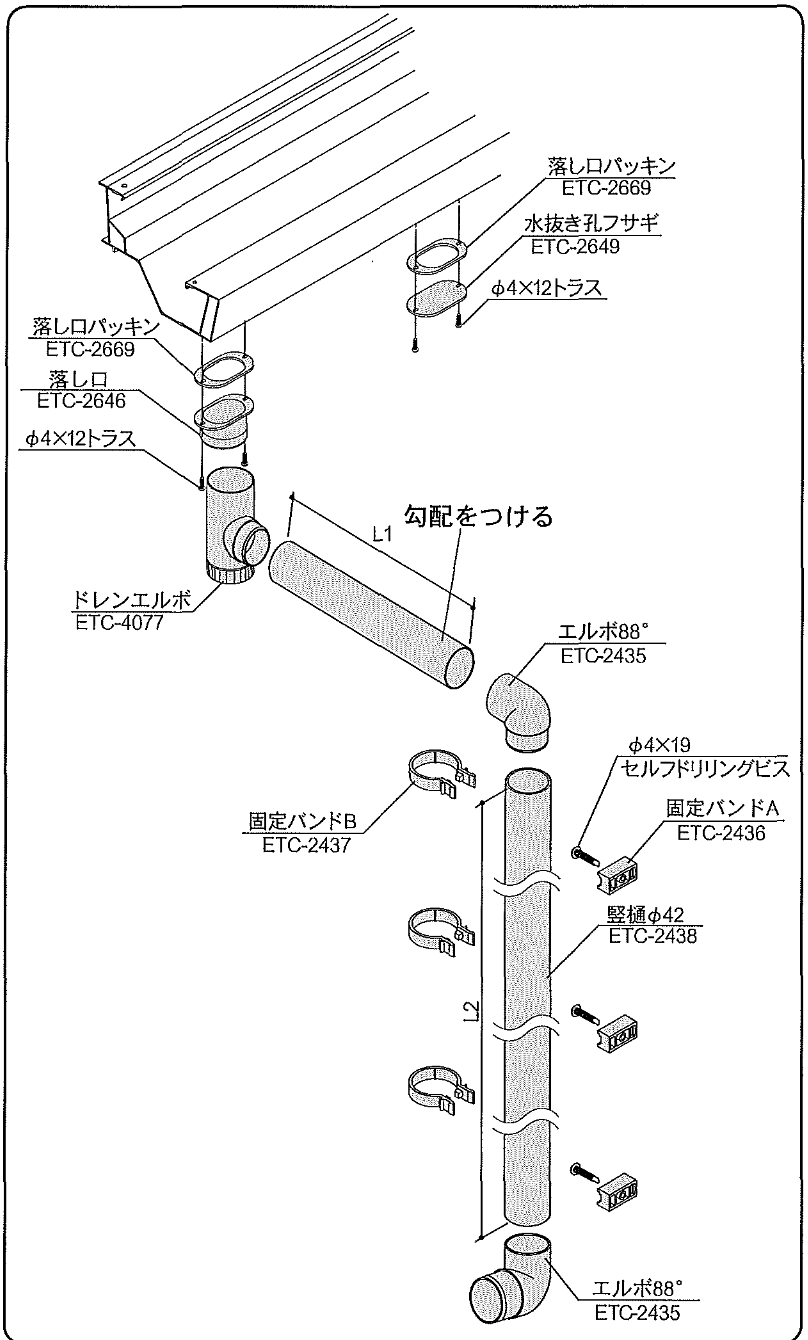
[参考寸法]

	柱標準位置でのL1	柱移動した時の切断範囲
奥行:51	1032	932～1132
奥行:58	1141	1041～1241

ポイント

●横樋(L1部分)は勾配をつけてください。
●固定バンドは、下図のように柱の溝にφ4×19セルフドリリングビスで固定してください。





○ 施工完了時の注意事項

● ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
● 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
● この施工説明書は、施工終了後施主様にお渡ししてください。
● 施主様向け取扱説明書に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。

● オプション品のご紹介 本カーポートには下記のオプションがございます。

①サイドパネル
②連棟部品
③背面合掌部品
④補助柱
⑤物干し

各梱包内の施工説明書をご覧ください。